

## シャント穿刺とストレスに関する意識調査

医療法人衆和会 長崎腎病院

○岩永敦子, 米田千恵子, 高木志緒理, 岩本まゆみ, 山中真樹子, 丸山祐子

### 【背景】

過去に当院で実施した透析業務に関する調査では、シャント穿刺をストレスと感じるスタッフが多数を占めている。

### 【目的】

穿刺についての知識や感情要因を調査し、今後のシャント穿刺教育を検討する。

### 【対象・方法】

看護師・臨床工学技士を対象としたアンケート方式で、シャント管理に関する知識調査と意識調査を実施し解析する。

### 【倫理的配慮】

対象者に調査の目的と意義、プライバシーの保護などについて文書と口頭で同意を得た。

### 【結果】

穿刺に関するストレスは、経験年数やシャント関連の知識レベルで差は認められなかった。また、「努力をしている」スタッフは、そうではない人に比べてストレスが高い傾向が見られたが、有意ではなかった。一方、経験年数に関係なく63%が「シャントに関する知識・技術の習得」が穿刺に対するストレスの軽減になると感じていた。

### 【考察】

今回の検討では、シャント穿刺に関するストレスを軽減する方法は、知識・技術の量ではなく、またそれらを習得する努力でもなく、知識・技術を習得していくプロセス

で自信を得ていくことがポイントと推測された。